

都市デザイン部会



建築を街を通して考えます

自由に参加し、意見を述べ合い、

自身の研鑽を積むことを目的として集まっています

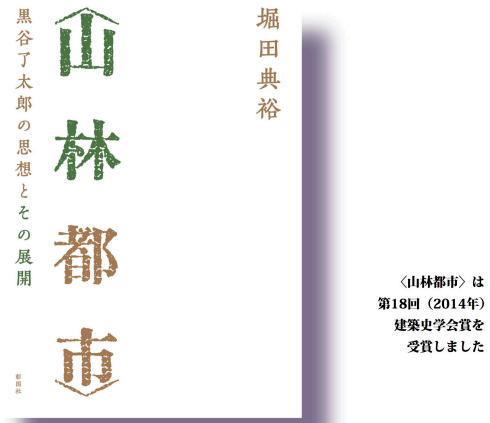
セミナーや見学会の開催

JIA都市デザイン部会 講演会

〈山林都市〉都市デザインの背景と行方

講師：堀 田 典 裕 氏

名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻助教
Lab/Archit.共宰



〈山林都市〉は
第18回（2014年）
建築史学会賞を
受賞しました

2014.5.19（月）18:30 ~ 20:30　開場18:00　最大延長21:00

建築家クラブ　渋谷区神宮前2-3-18 JIA館 1階

参加費 1,000.円　事前申込 不要

主催：JIA 都市デザイン部会　後援：彰 国 社



建築家クラブ　渋谷区神宮前 2-3-18　JIA 館 1 階

参加費 無料　事前申込 不要
主催：JIA 都市デザイン部会

神無月の頃、茅栢野といふ所を過ぎて、ある山里に尋ね入る事侍りしに、遙かなる苔の細道をふみわけて、心細く住みなしたる庵あり。木の葉に埋もるる筧の雫ならでは、露おとなふものなし。閼伽棚に、菊・紅葉など折りちらしたる、さすがに住む人のあればなるべし。　かくても在られるよと、あはれに見る程に、かなたの庭に大きなる柑子の木の、枝もたわゝになりたるが、まはりを厳しく囲ひたりしこそ、少しことさめて、この木なからましかばと覚えしか。（徒然草　第 11 段）

兼好は蜜柑の木の囲いに喚いていますが、庵主の思惑は、兼好のそれとは確実に異なるものだったと思います。兼好の時代に「公」と「私」の概念があったとは思えませんが、他人を不快に感じさせる行為は無粋なことと認識されていた上で、この蜜柑の木は両者にとってどちらに属するものだったのでしょうか。　緑は地域の共有財との表現は、街中の緑を享受する、いわば受益者側の意識であり、実際には所有者の意志と努力によって緑の景が保たれているのが現実です。緑の多い街を否定する方はいないと思いますが、それを支える部分の大切さを必ずしも市民は共有できていないと感じています。　建築やまちづくりの専門家は、市民に何を語り、どうすれば、その認識を共有できるのでしょうか。また、どうすれば、それを広げることができるのでしょうか。　共通する意識を醸成するためには専門の立場に関わる者は何ができるのかについて議論を行います。　（鈴木和貴）

Last Modified 2014.3.31



JIA 都市デザイン部会　まち歩き

神宮外苑を歩いてみよう

歩いて・観て・感じて



（土）　集合 15:00　JR 千駄ヶ谷駅改札口前

宮記念スポーツ博物館～聖徳記念絵画館～神宮外苑～銀杏並木～明治公園～TEPIA

※秩父宮記念スポーツ博物館のみ入館します。他は外観のみの見学です。

料・事前申込不要

（秩父宮記念スポーツ博物館の入館料 300 円は各自ご負担ください）

スはさておいて、まずは神宮外苑を歩き、この街の

る企画です。

引には、いろいろな意見をお持ちのことと思います。

ったん「おいといて」、街の景として、美しさ・心地

う。

ものは何かについて、歩くことで感じてみましょう。

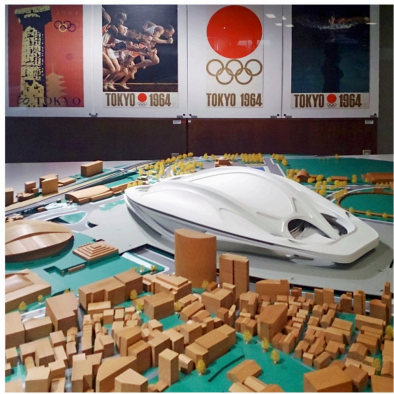
、大歓迎です。

駅周辺で、懇親会（4,000.円程度）を行います。

で、懇親会に参加されます方はご連絡ください。

・問合せ先：　PAX 建築計画事務所　鈴木 和貴
suzuki@paxkenchiku.co.jp

Last Modified 2013.9.14





↑桜上水ガーデンズ見学会

拡大例会（左・上下とも）→





↓



小布施にて↑

研修旅行（UD Tour）

身延山久遠寺宝蔵→




大多喜町役場にて


金山町にて





↑鹿児島県南さつま市坊津町秋目の麓集落

←青森県青森市酸ヶ湯温泉